

DAITO CHEMIX

平成29年3月期 決算説明資料

ダイトケミックス株式会社

平成29年5月11日

DAITO CHEMIX

将来見通しに関する記述について のご注意

DAITO-KISCO Corporation

Fukui Plant

Tokyo Office

Shizuoka Plant

Head Office
R&D Center

予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競合状況や不確定要因により実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。

平成29年3月期業績概要

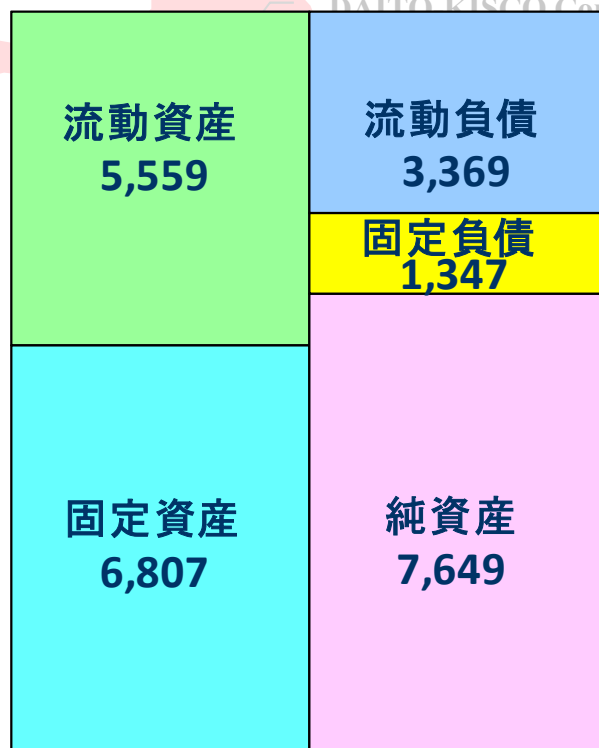
(百万円, %)

項 目		26年3月期	27年3月期	28年3月期	29年3月期	前期比	
		実 績	実 績	実 績	実 績	増 減	伸び率
売上高	化成品事業	7,353	7,752	8,333	10,426	2,093	25.1
	感光性材料及び印刷材料	5,192	5,881	5,873	7,592	1,719	29.3
	写真材料及び記録材料	1,256	1,011	1,261	1,718	456	36.2
	医薬中間体	802	780	1,083	899	△ 184	△ 17.0
	その他化成品	102	78	115	216	101	88.4
	環境関連事業	1,311	1,464	1,418	1,479	60	4.3
	合 計	8,665	9,216	9,751	11,905	2,154	22.1
売上総利益		995	1,140	1,338	2,086	747	55.9
営業利益	化成品事業	92	204	285	868	582	204.6
	環境関連事業	115	182	215	277	62	28.8
	消去又は全社	3	6	9	10	0	11.1
	合 計	211	393	510	1,156	646	126.7
経常利益		276	420	521	1,091	569	109.4
税引前当期純利益(△は純損失)		284	410	△ 1,130	1,591	2,722	—
当期純利益(△は純損失)		269	365	△ 970	1,545	2,516	—
年間配当金(1株当たり)		2円	3円	0円	6円(予定)	6円	—

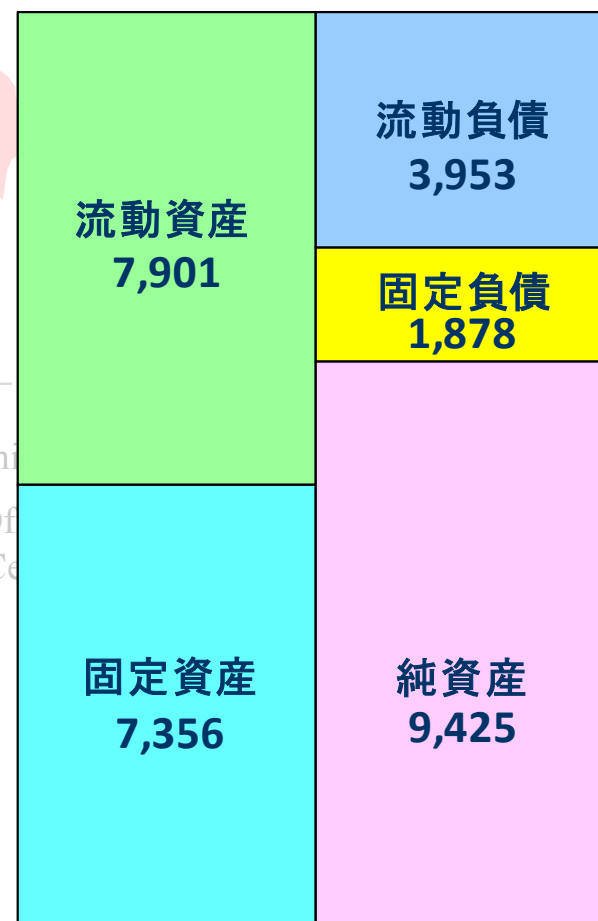
財政状態

12,366 (百万円)

15,257 (百万円)



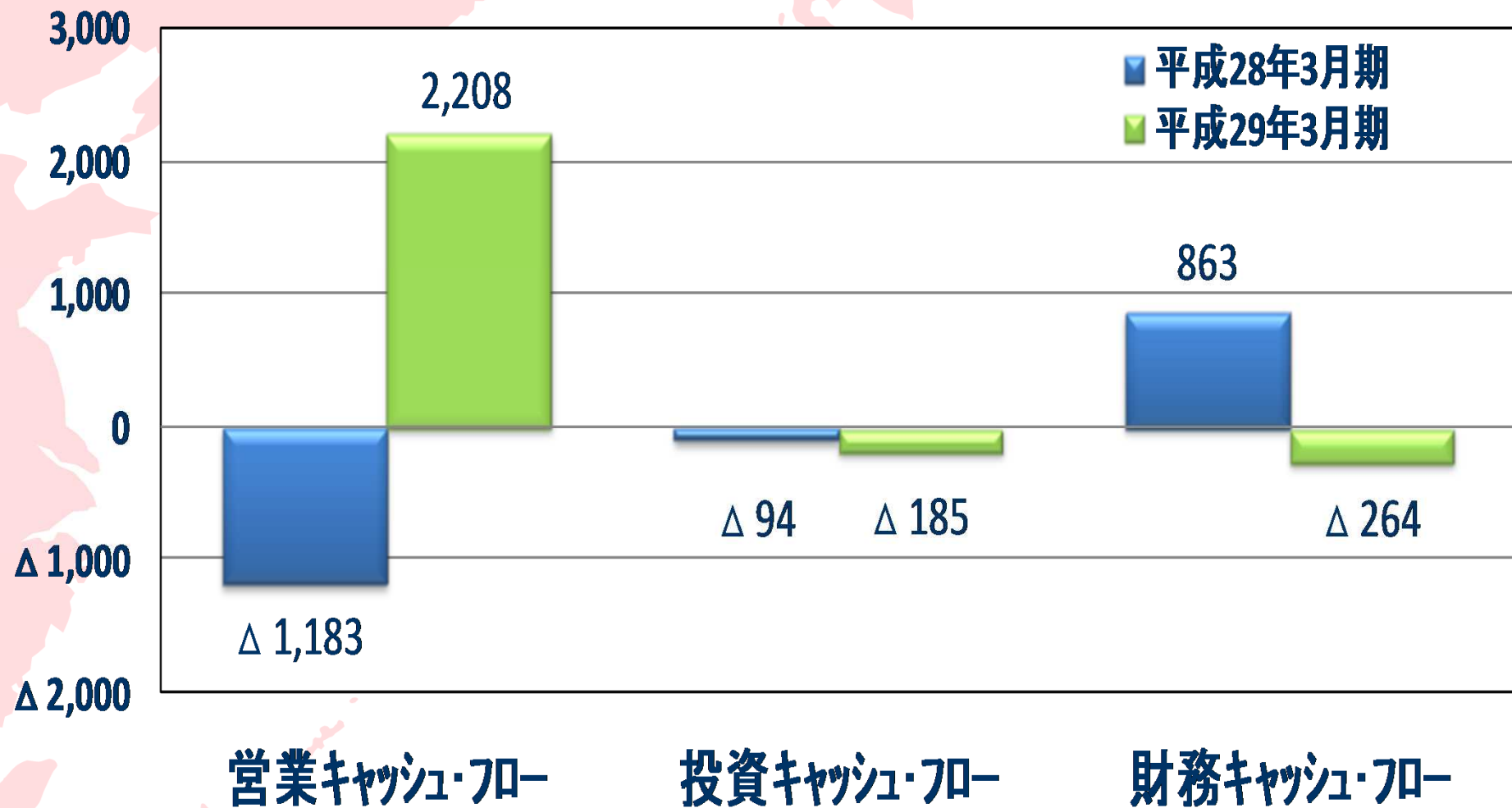
平成28年3月期



平成29年3月期

キャッシュ・フローの状況

(百万円)



平成30年3月期業績予想

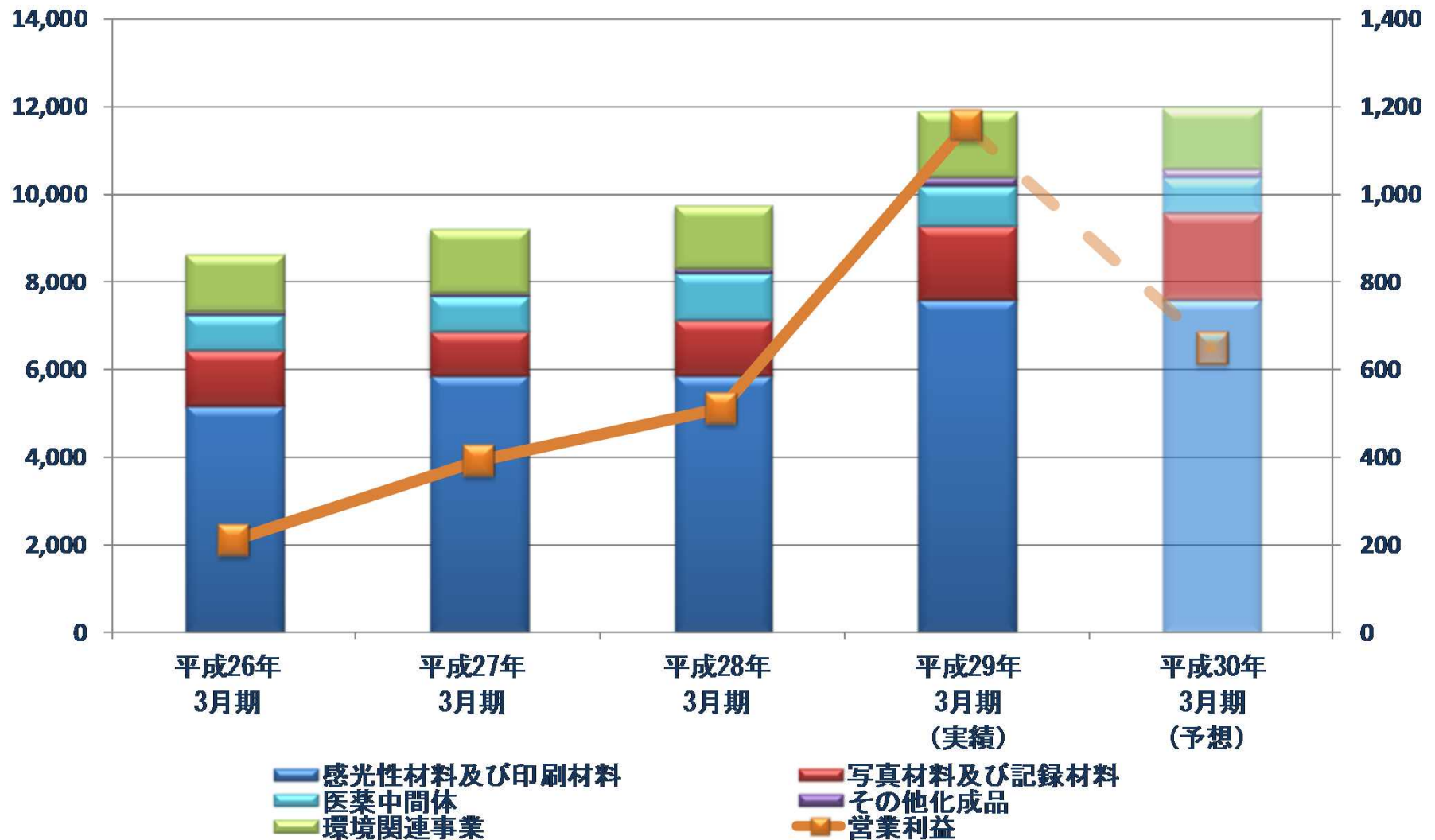
(百万円、%)

項 目		29年3月期実績			30年3月期予想			
		上期	下期	年間	上期	下期	年間	伸び率
売上高	化成品事業	5,240	5,186	10,426	5,100	5,500	10,600	1.7
	感光性材料及び印刷材料	3,800	3,792	7,592	3,800	3,800	7,600	0.1
	写真材料及び記録材料	800	917	1,718	1,000	1,000	2,000	16.4
	医薬中間体	520	378	899	200	600	800	△ 11.0
	その他化成品	118	97	216	100	100	200	△ 7.4
	環境関連事業	712	766	1,479	700	700	1,400	△ 5.3
	合 計	5,952	5,952	11,905	5,800	6,200	12,000	0.8
売上総利益		1,057	1,028	2,086	750	850	1,600	△ 23.3
営業利益	化成品事業	479	388	868	100	300	400	△ 53.9
	環境関連事業	135	141	277	150	100	250	△ 9.7
	消去又は全社	5	4	10	0	0	0	—
	合 計	620	535	1,156	250	400	650	△ 43.8
経常利益		559	532	1,091	250	450	700	△ 35.8
税引前当期純利益		559	1,032	1,591	250	750	1,000	△ 37.1
当期純利益		483	1,062	1,545	200	550	750	△ 51.5
1株当たり配当金(円)		0	6(予定)	6(予定)	3	3	6	0.0

売上、営業利益の推移

売上高
(百万円)

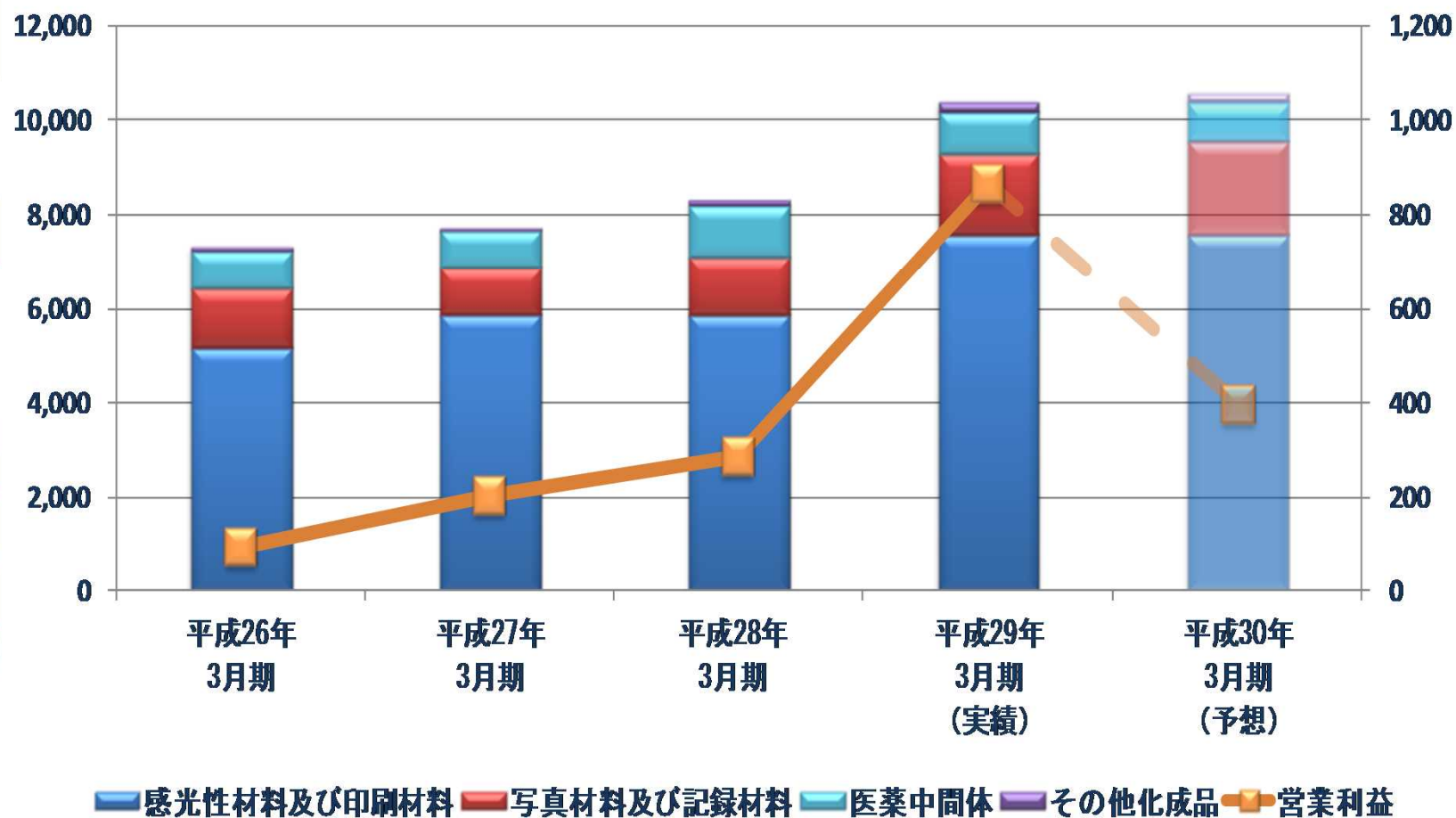
営業利益
(百万円)



化成品事業の業績推移

売上高
(百万円)

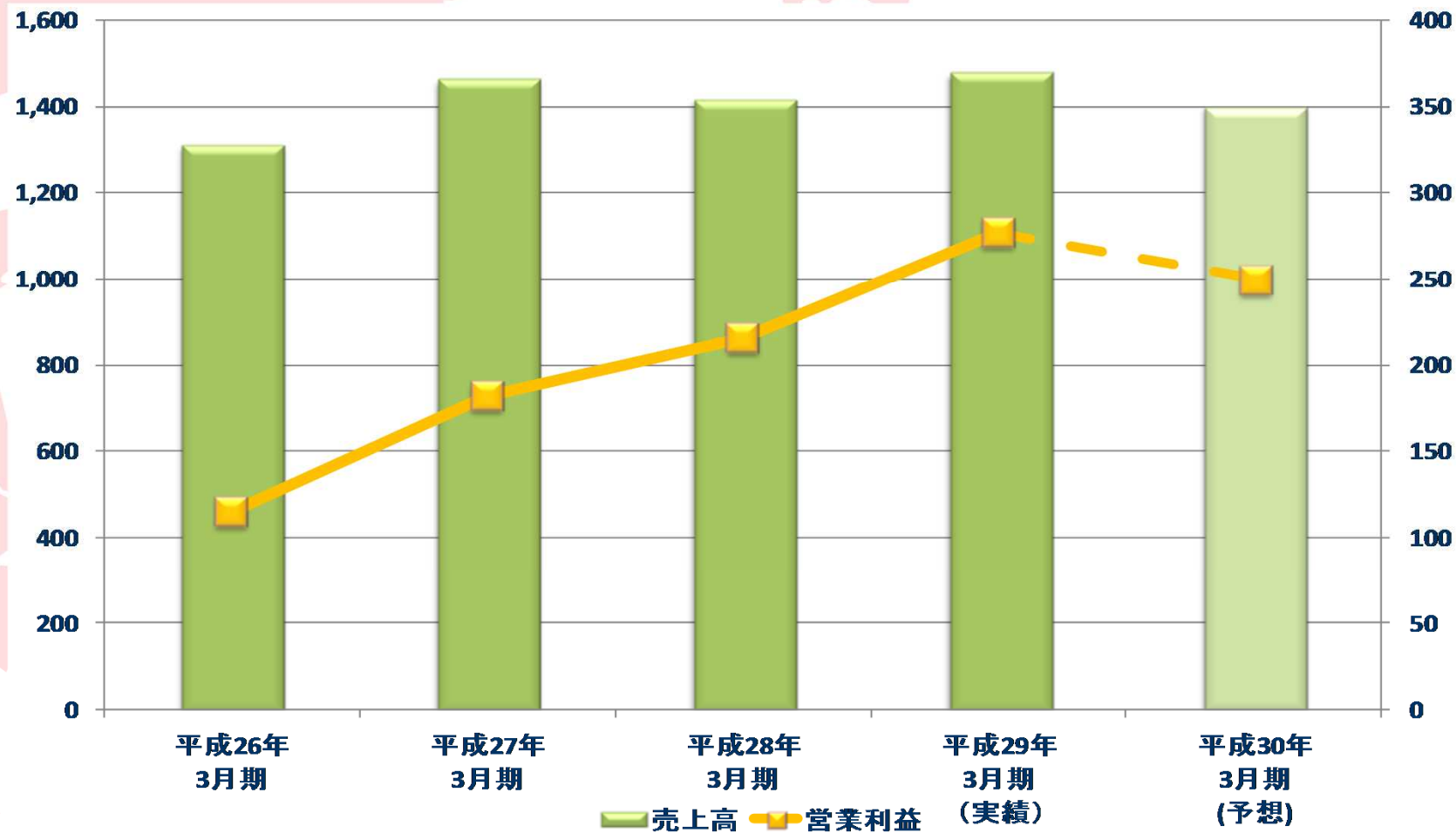
営業利益
(百万円)



環境関連事業の業績推移

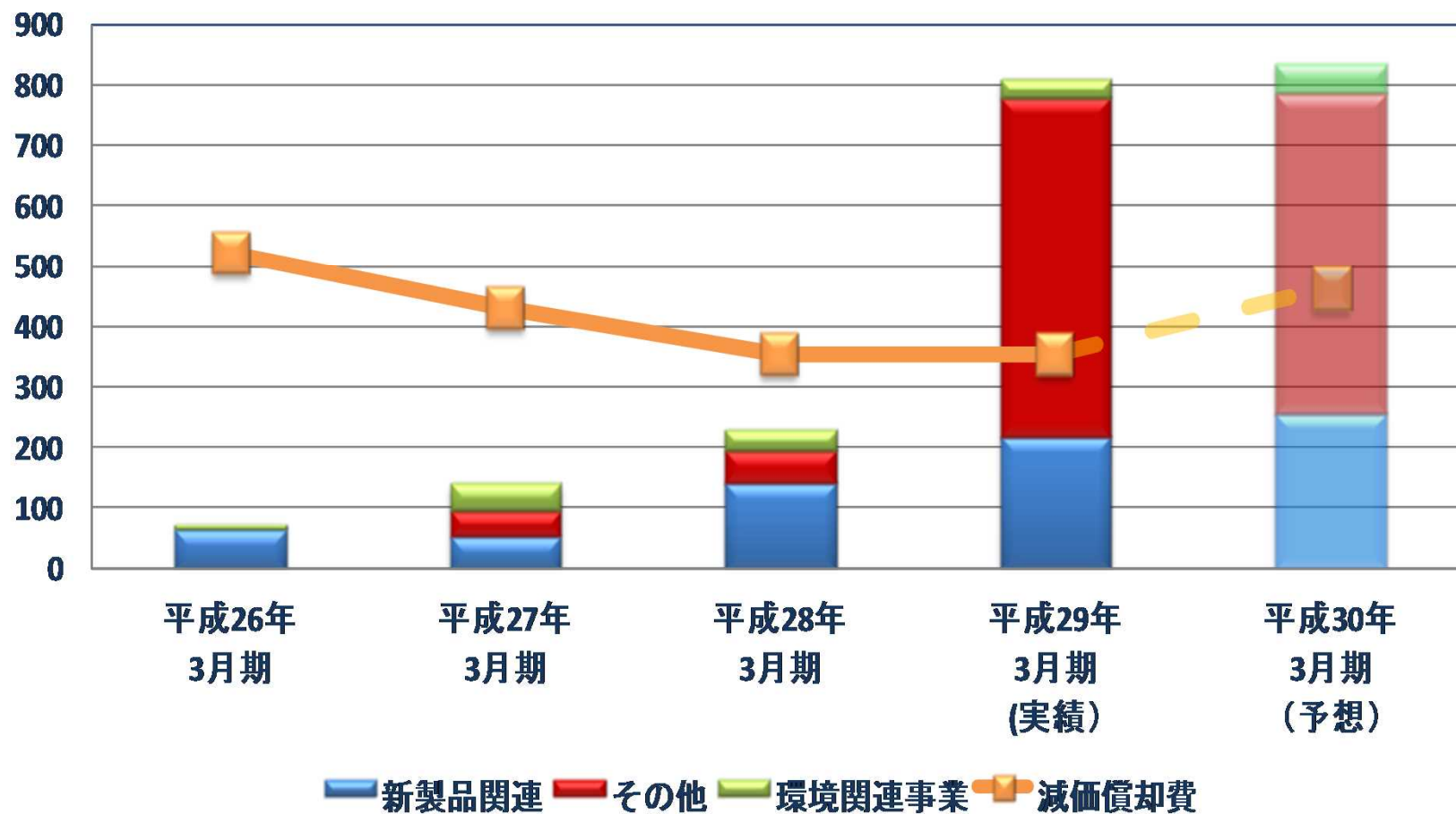
売上高
(百万円)

営業利益
(百万円)



設備投資の推移

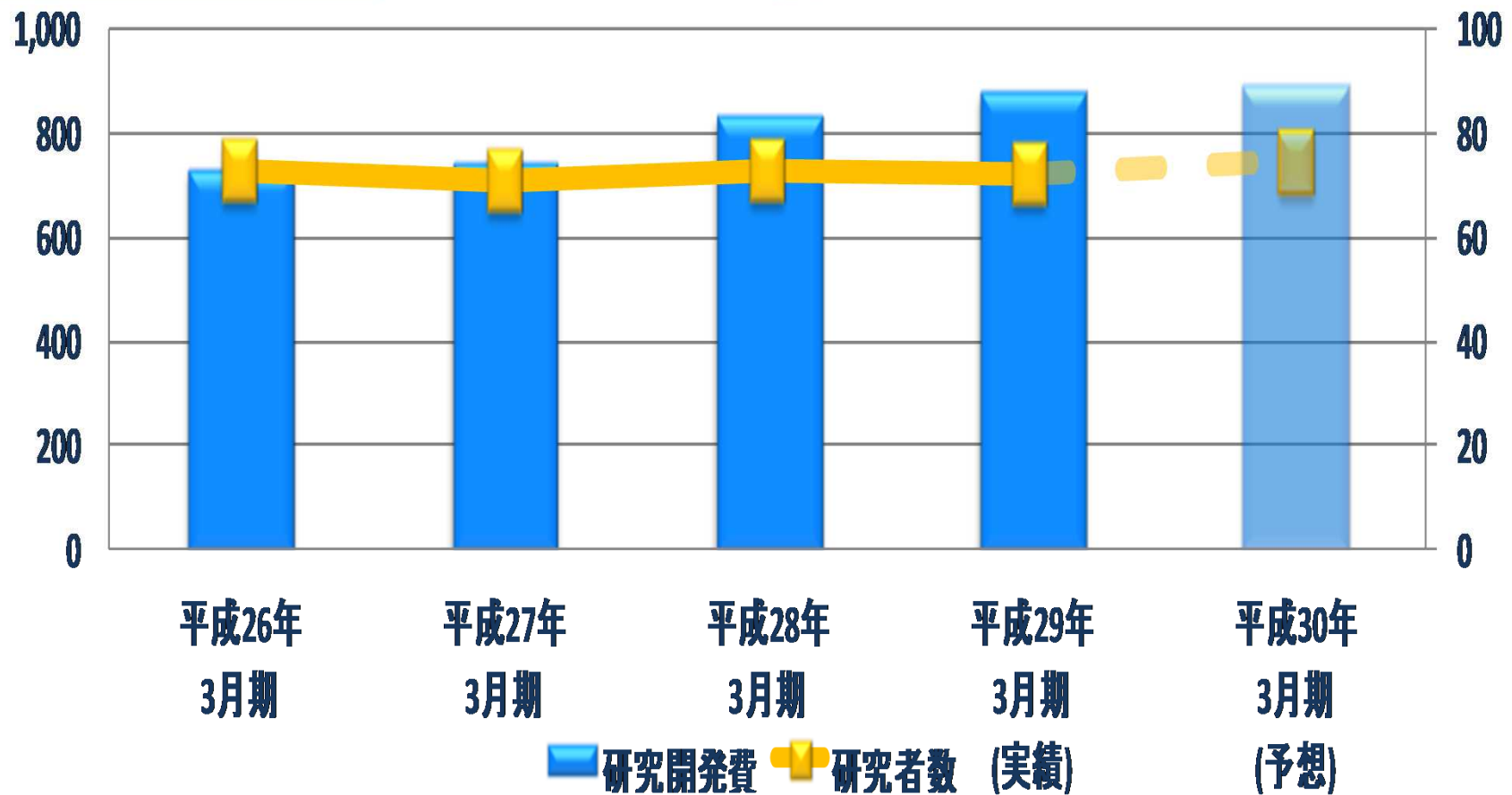
(百万円)



研究開発費・研究者数の推移

研究開発費
(百万円)

研究者数
(人)



中期経営計画

○平成28年3月に平成29年3月期をスタートとする3ヵ年の中期経営計画を策定。
その後、平成29年3月期の業績見通しを勘案し、平成29年3月に中期経営計画を上方修正。

○中期経営計画の最終的な目標は以下の通り。

《 平成30年度(平成31年3月期)連結経営目標 》

【平成28年3月策定】		【平成29年3月上方修正】	
売上高	110億円		130億円
経常利益	7億円	⇒	8億円
経常利益率	6%以上		6%以上

○中期経営計画は以下の方針に基づき取り組む。

経営方針

変動の激しい事業環境の中で、安定的、持続的に成長可能な企業基盤の構築を図っていく。

1. CSRを推進し、コンプライアンスの徹底、コーポレートガバナンスの充実・強化に取り組む。
2. 「ものづくり」メーカーとして、安全第一を基本に置き、QCDを大切に迅速かつ丁寧に対応し顧客満足を上げていく。
3. 既存の技術・ノウハウ・知見・経験、新規技術を活かし、付加価値を増加させていく。
4. 健全な財務体質を向上していくとともに、資源の有効活用を図っていく。
5. 困難な課題にもあきらめずに挑戦し、乗り切っていく。

中期経営計画

○中期経営目標を達成するための課題は以下のとおり。

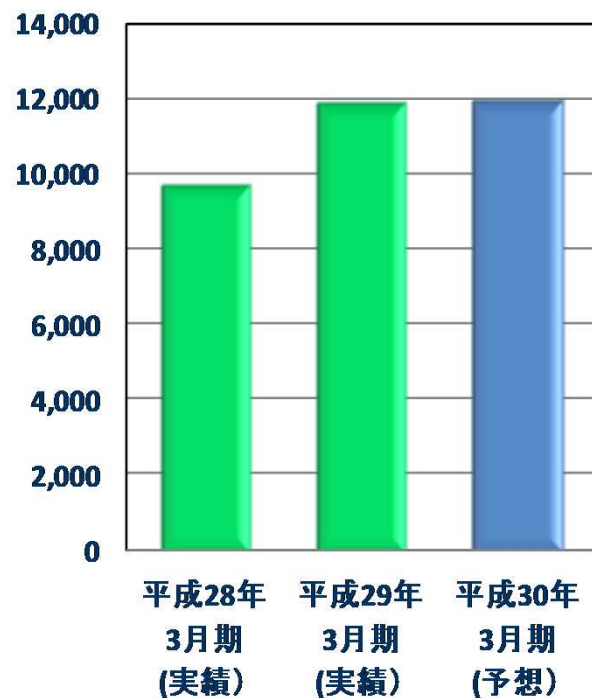
経営課題

1. 売上拡大と新製品開発のスピードアップ
2. 全体最適化での徹底した生産性向上
3. 設備投資を充実させ、安全、品質、生産性向上を推進
4. 人材育成・採用、社員教育の充実
5. すべてのコスト要素にメスを入れたコスト削減
6. 新基幹システム構築による業務効率向上
7. グループ力を強化し、シナジー効果の最大化

○この中期経営計画を当社グループ一丸となって取り組んでいきます。

平成30年3月期の経営計画

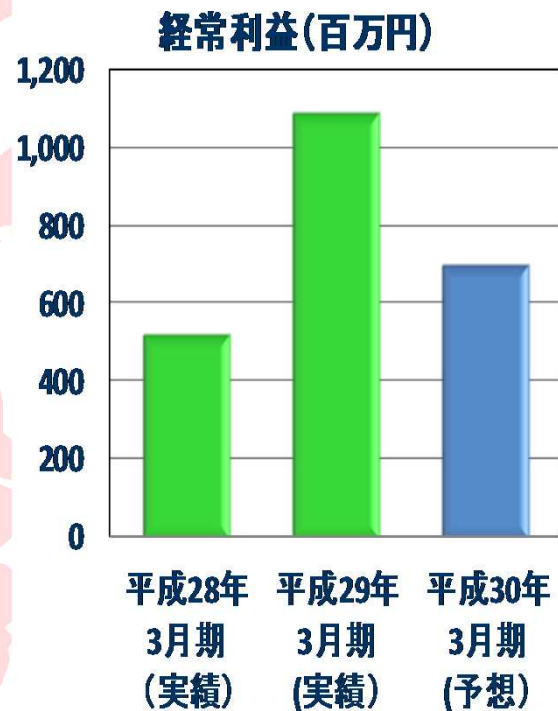
売上高(百万円)



1. 売上高の予想

- ・前期に比較して約1億円増加し、120億円の見通し。
- ・化成品事業の写真材料及び記録材料の売上が増加し、医薬中間体が減少する見通し。

平成30年3月期の経営計画



2. 経常利益の予想

- ・売上は前期に比較して増加するものの、主に減価償却費の増加と製造費用の増加により、経常利益は前期比で3.9億円減少し、7億円となる見通し。
- ・新製品開発の促進、既存製品のコスト低減による収益性改善検討等により経常利益率の改善を図る。

《参考》 関連数値情報

(金額単位: 百万円)

項 目	26年3月期 実績	27年3月期 実績	28年3月期 実績	29年3月期 実績	30年3月期 予想
財政状態					
純資産	8,423	8,967	7,649	9,425	10,544
総資産	12,429	12,992	12,366	15,257	15,680
自己資本比率(%)	67.8	69.0	61.9	61.8	64.7
キャッシュ・フロー					
営業キャッシュ・フロー	537	1,181	△ 1,183	2,208	917
投資キャッシュ・フロー	188	△ 73	△ 94	△ 185	△ 794
財務キャッシュ・フロー	△ 607	△ 441	863	△ 264	128
現金及び現金同等物	648	1,313	870	2,628	1,122
設備投資関連					
設備投資額	75	143	234	813	837
減価償却費	522	429	353	355	466
研究開発関連					
研究開発費	735	748	838	883	900
研究開発要員(期末: 人)	73	71	73	72	75
全社員(期末: 人)	255	246	249	252	256

《メモ》

DAITO CHEMIX

DAITO-KISCO Corporation

Fukui Plant

Tokyo Office

Shizuoka Plant

Head Office
R&D Center